

プラズマ・核融合学会誌

第94巻第4号

2018年4月

解 説	プラズマ回転による抵抗性壁モード安定化に関する 理論・シミュレーション研究の進展	白石 淳 也	183
小 特 集	パワー半導体を利用した高繰り返しパルスパワー電源の進展 1. はじめに	江 偉 華	191
	2. Linear Transformer Driver を用いた波形重畳型パルスパワー発生方法と その応用	江 偉 華, 徳 地 明, 須 貝 太 一	192
	3. 誘導加速シンクロトロンに用いるパルスパワー電源	岡 村 勝 也, 高 木 浩 一	197
	4. パワーデバイスと磁気スイッチを用いたパルスパワー発生装置と最近の応用	佐久川貴志	202
	5. おわりに	江 偉 華	210
講 座	今日からはじめる Python 4. Python の活用 4.1 LHD 実験における Python の活用	江 本 雅 彦	212
	4.2 JT-60SA 実験における Python の利用	浦 野 創	216
	5. おわりに	吉 沼 幹 朗	220
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト			222
追 悼			223
インフォメーション			225
	幅広いアプローチ活動だより(72)		
	ITPA (国際トカマク物理活動) 会合報告(64)		
Plasma & Fusion Calendar			228
本 会 記 事			230
	第35回年会シンポジウムおよび招待講演の募集／第12回核融合エネルギー連合講演会プログラム概要 ／学生会員年会費の値下げについて／専門委員会応募に対する採択の結果		
編 集 後 記			

表紙の絵

磁気スラストチャンバーの推進原理を示す。まず図 (a) に示すようにコイルに電流を流し磁場を印加し、ターゲットにレーザーを照射してプラズマを生成する。膨張するプラズマ内部には、反磁性電流が流れプラズマ内部の磁場は打ち消され、プラズマ外部の磁場は圧縮される [図 (b)]。その後、外部磁場と反磁性電流によるローレンツ力によりプラズマは右方向に加速され、推進機はその反作用として左方向に加速され推力を得る [図 (c)]。 (Yutaro ITADANI *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol.13, 1306016 (2018) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel:(03)3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。